

今冬発生した 大規模な車両滞留等について

E17関越自動車道（新潟県）における大雪に伴う車両滞留

- E17関越道において、大型車のスタック等を契機に、約2,100台の滞留が発生。
- 自衛隊や警察等の協力による物資配布、中央分離帯開口部や渋滞後尾からのUターン等による車両救出を実施。

◇新潟市方面 時系列

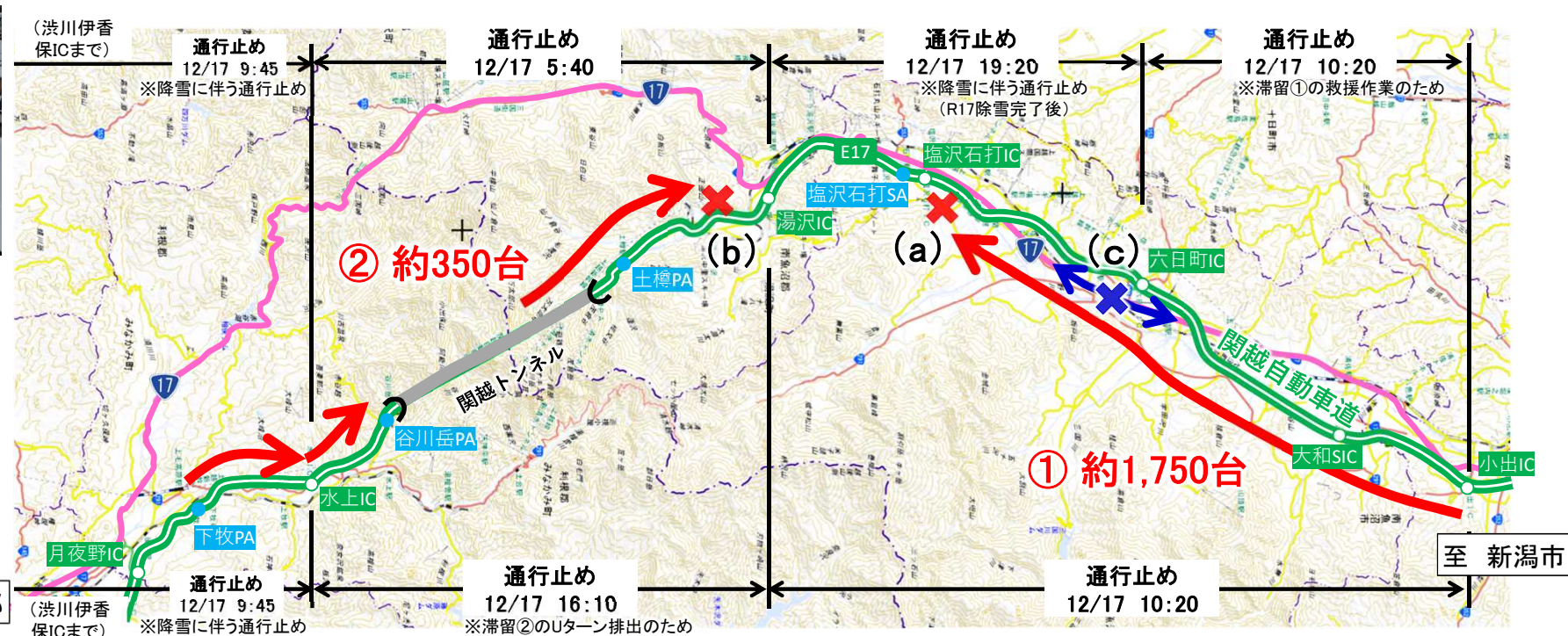
日付	時間	内容	日付	時間	内容	日付	時間	内容
12月16日	22:03	大型車スタック発生【(b)滞留②の要因】	12月17日	9:45	渋川伊香保IC～水上IC（上下線）通行止め開始	12月18日	5:20	滞留②のうち水上IC～谷川岳PA区間車両排出完了
				10:20	六日町IC～小出IC（新潟方面）通行止め開始		7:00	HP広報（残り約70台の滞留車両）
				11:45	水上IC～小千谷IC【災対法適用開始】		7:30	滞留②区間車両排出完了
				13:26	滞留②のうち下牧PA～水上IC区間車両排出完了		12:00	HP訂正広報（残り約1000台の滞留車両確認）
				14:10	滞留②を谷川岳PAの雪氷作業路でUターン排出開始			
				17:30	滞留②を関越TN手前の中分開口部でUターン排出開始			
				19:10	渋川伊香保IC～月夜野IC（上下線）通行止め解除	12月19日	17:30	湯沢IC～小出IC（上下線）通行止め解除
				19:20	湯沢IC～六日町IC（新潟方面）通行止め開始		21:30	月夜野IC～湯沢IC（新潟方面）通行止め解除
日付	時間	内容	日付	時間	内容	日付	時間	内容
12月17日	0:28	滞留延長に伴い関越トンネル（新潟方面）進入禁止						
	0:45	滞留②の排出作業着手						
	5:40	水上IC～湯沢IC（新潟方面）通行止め開始						



①滞留の状況



②滞留の状況



◇東京方面 時系列

日付	時間	内容	日付	時間	内容	日付	時間	内容
12月16日	17:52	大型車スタック発生【(a)滞留①の要因】	12月17日	10:20	湯沢IC～小出IC（東京方面）通行止め開始	12月18日	7:00	HP広報（残り約70台の滞留車両）
	20:39	国道17号故障車により通行止め【(c)箇所】		11:45	水上IC～小千谷IC【災対法適用開始】		12:00	HP訂正広報（残り約1000台の滞留車両確認）
	22:00	滞留①の排出作業着手		11:45	滞留①を塩沢石打SA雪氷作業路でUターン排出開始		18:00	滞留①を中分開口部（塩沢石打～六日町）でUターン排出開始
				16:10	水上IC～湯沢IC（東京方面）通行止め開始		22:15	滞留①区間車両排出完了
				20:20	滞留①を後尾から逆走による排出開始			
日付	時間	内容	日付	時間	内容	日付	時間	内容
12月17日	0:10	関越道通行止め見送り（国道17号通行止めのため）				12月19日	17:30	湯沢IC～小出IC（上下線）通行止め解除
	1:27	国道17号通行止め解除【(c)箇所】					18:45	月夜野IC～湯沢IC（東京方面）通行止め解除

令和2年12月関越道集中降雪を踏まえた課題・今後早急に行う対応

令和2年12月25日

事実関係	原因	今後早急に行う対応
(1) 滞留車両が多く発生したこと		
整備局、NEXCO、県、県警、消防からなる情報連絡本部を設置しなかった(①) 16日 日中 R17で断続的に立往生発生(②) 16日 17:52 関越道で断続的に立往生発生(③) 16日 20:39 R17(六日町)で故障車による通行止め発生(この時点では通行止めを未把握) 16日 22:08 R17(六日町)の通行止めを把握 17日 0:10 関越道の通行止めを見送り(④) 17日 1:27 R17六日町の通行止め(故障車)解除 17日 R17塩沢除雪ステーション～湯沢IC(上り)で断続的に立往生車発生(⑤) 17日 8:00 R17塩沢除雪ステーションでチェーン指導開始 17日 10:20 関越道(小出～湯沢(上り))通行止め	・18日には寒気が緩む予報であったため、情報連絡本部を設置するまでには至らないと考えた(①) ・冬用タイヤやチェーン未装着車両が走行していた(②) ・立往生は発生していたが順次排除できると考えた(③) ・R17が通行止めのため、同時の通行止めを避けようと考え、関越道の通行止めのタイミングを逃した(④) ・R17の通行止め解除の連絡を情報共有システムのみ relies、NEXCOに確実な情報が伝わらなかった可能性がある ・R17の通行止めを解除したものの、断続的に立往生車両が発生していたため、関越道の通行止めのタイミングを逃した(⑤)	○大雪警報等の情報を得た段階で速やかに国道事務所に情報連絡本部を設置する ○大雪警報があつて、立往生車両などを把握した際には、速やかに関係者が連携して通行止めやチェーン装着指導などの措置を行う ○タイミングを逃さず予防的通行止め、集中除雪を躊躇なく行う ○状況の深刻化に応じ、相互にリエゾンを派遣して詳細な道路状況の共有を図る
(2) 正確な状況把握が出来なかったこと		
滞留車両数を把握できなかった 18日 7:30 滞留車両約70台と発表(NEXCO) 18日 12:00 滞留車両を約1000台に訂正(NEXCO)	・現地からの情報やITVカメラに映る範囲で把握した、滞留延長をもとに滞留する台数の概数を算出し、退出台数の引き算で滞留台数を管理していた ・塩沢から六日町に向かって徒歩による計測に向かったが、積雪が多く、時間を要した	○ITVカメラの増設により現地の滞留台数の把握を行う(N) ○カメラの首振りを行い広範囲の事象把握に努めるなど事象監視方法の見直しを実施する ○巡回体制を強化する(班編制を増加)(N) ○徒歩・スノーモービル等による調査体制を構築する ○ヘリコプターやドローンを活用する体制を構築する ○滞留車両台数把握専任者を現地に派遣する(N)
(3) 滞留者の救助・支援が不十分だったこと		
16日 17:52 関越道で断続的に立往生発生 16日 22:42 関越道で物資等配布開始(NEXCO) 17日 10:00 国交省へ物資支援の要請(NEXCO) 17日 14:10 新潟県へ支援要請(NEXCO) 17日 14:26 新潟県から自衛隊へ要請 17日 16:00 関越道で物資等配布開始(NEXCO) 17日 18:10 新潟県が自衛隊へ支援物資提供 17日 22頃 関越道で物資等配布開始(自衛隊)	・当初NEXCOは自社のみで対応しようと考えていたため、県防災局への支援要請が遅れた ・整備局は備蓄食料をプッシュ型で送ったが、配布のための人員は要請が無かったため派遣しなかった	○整備局内、NEXCO支社内で、滞留者の救助のための人員体制を確保する ○速やかに自社で対応可能か判断を行い、必要に応じて県防災局へ支援要請を行う(N) ○配布の人員が不足する場合、近隣直轄事務所・市町村・県出先機関などに協力を求める体制を構築する ○中央分離帯開口部やUターン路、救助(退出)場所の事前把握と現地の準備を行う(ex 途中で降りられる場所の位置をポールで示す)(N) ○関係機関とも連携し ・水や食料等の救援物資を備蓄、確保する ・県市町村との一次避難所等の協力関係を再確認する ○滞留者の支援のための「ドライバー支援ノウハウ集」に基づき関係機関との連携体制や役割等を再確認する ○滞留者への現地作業状況等を定期的に情報提供する(HP、Twitterや拡声器を活用)
(4) 広報が不十分であったこと		
大雪に対し、関係機関と連携して幅広く外出自粛を呼びかける「緊急発表」等を実施しなかった 記者発表が定期的に実施できていなかった	・強い寒気による大雪は認識していたが、18日には寒気が緩む予報であったため、事前広報を行わなかった ・除雪や滞留状況を広報する意識がなかった	○大雪警報の可能性がある場合には、関係機関が連携して外出自粛、広域迂回の広報を前広に実施する(ex NEXCOも含めた共同会見等)とともに、高速道路における通行止めの予測区間を公表する ○会社の発表はTwitterのみならず、記者発表等も行う(N) ○周知不足が立往生原因でもあったことから関越道向けの広報を年内に集中的に展開する

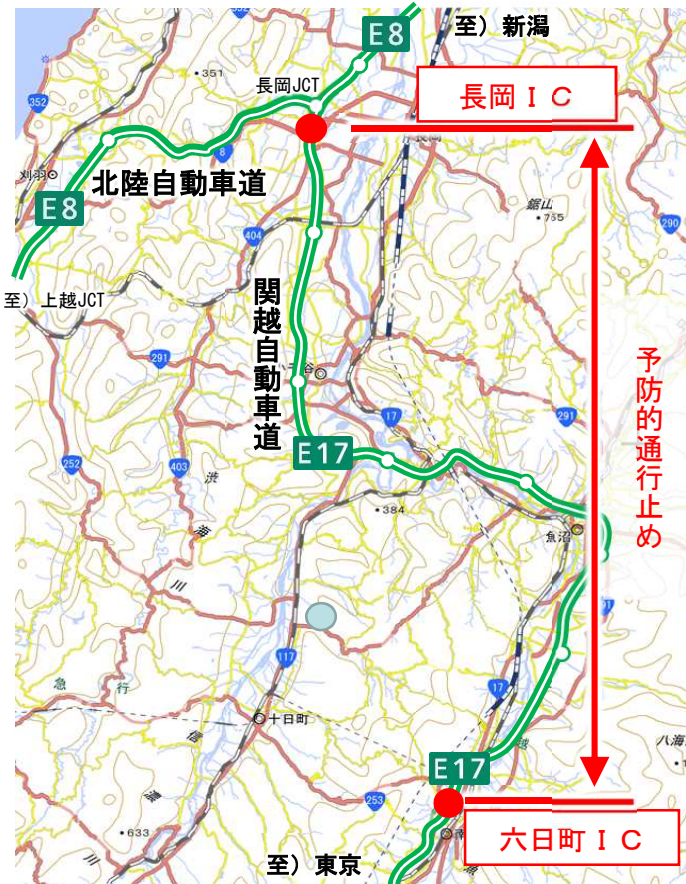
(N):NEXCOにおいて実施するもの 無印:国土交通省・NEXCOの両者において実施するもの

E17関越自動車道における予防的通行止めの概要

○年末年始の大雪において、広域迂回や解除の見通しを予め広報した上で、関越自動車道（六日町IC～長岡IC）で予防的通行止めによる集中除雪を実施（延べ4時間半で通行止めを解除）

<予防的通行止め概要>

- 日時
令和2年12月31日21時30分～令和3年1月1日2時00分
(計 4時間30分)
- 区間
関越自動車道 六日町IC～長岡IC（上下線）



<予防的通行止めにおける集中除雪作業状況>



<広域迂回広報>

【HP広報】12月31日 21時10分に発表



NEWS RELEASE

令和2年12月31日
東日本高速道路株式会社
新潟支社

関越自動車道 大雪による予防的通行止めの実施 関越自動車道 六日町IC～長岡IC

NEXCO東日本新潟支社(新潟市中央区)では、現在の降雪状況を踏まえ、下記のとおり予防的通行止めを実施し集中除雪を行います。
お客さまには、大変ご迷惑をお掛けしますが、冬期交通の安全確保のためご理解・ご協力をお願いします。

1. 通行止め区間
関越自動車道 六日町IC～長岡IC（上下線）
2. 通行止め時間
令和2年12月31日 21時30分～令和3年1月1日 3時00分(予定※)
※ 状況により時間が前後する可能性があります。
3. 迂回路
一般国道17号
なお、上信越自動車道や磐越自動車道などへの広域迂回もお願いします。

【道路情報板による広域迂回情報】

関越道 六日町～長岡 通行止め
迂回は上信越道のご利用を

北陸道（上）栄PA～三条燕IC
（長岡JCT手前）

関越道 六日町～長岡 通行止め
迂回は上信越道・磐越道のご利用を

北陸道（下）能生IC～名立谷浜IC
（上越JCT手前）

【Twitter広報】

12月31日

21時30分に通行止め開始を投稿



NEXCO東日本(新潟) 22時16分に解除見込みや広域迂回を投稿
@e_nexco_niigata

【通行止め情報】関越道 六日町～長岡 大雪による予防的通行止めを、21時30分から翌3時(予定)。迂回路は一般道17号。上信越自動車道や磐越自動車道などへの広域迂回もお願いします。引き続き、不要不急のお車のご利用はお控えください。気象情報は、[#高速道路影響情報サイト](#)

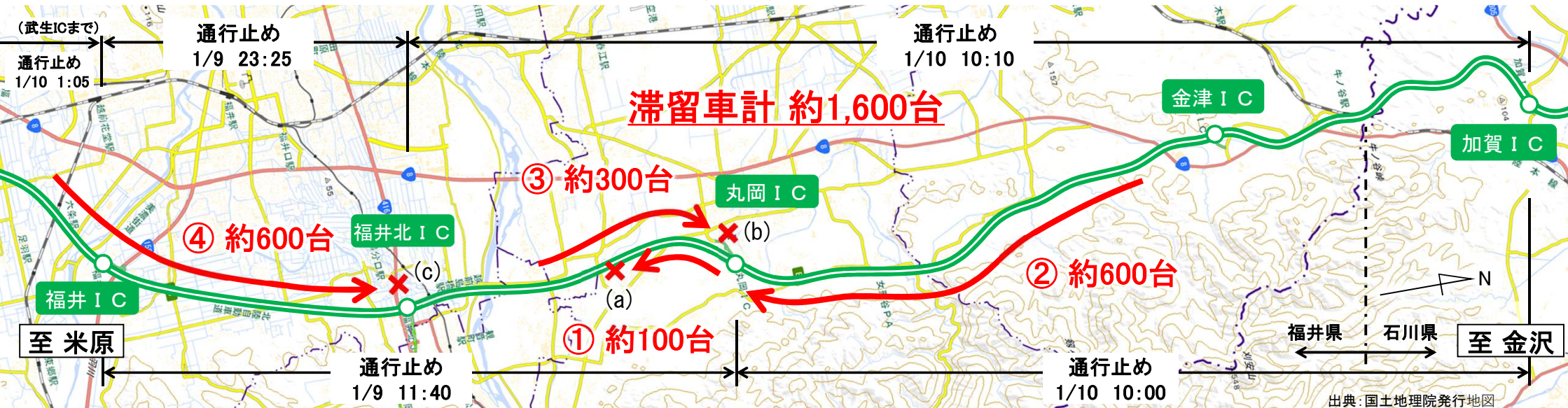
午後10:16 · 2020年12月31日 · Twitter Web App

E8北陸自動車道（福井県）における大雪に伴う車両滞留

- E8北陸道において、大型車のスタック等を契機に、約1,600台の滞留が発生。
- 災害対策基本法に基づく区間指定を行い、警察、自衛隊、福井県の協力による物資配布、渋滞後尾からのUターン等による車両救出及び除雪作業を実施。
- 滞留解消までに長時間を要する見込みとなったことから、県や観光・運輸部局と連携して、一時避難希望者（23名）に対して、ホテルや宿泊所の提供を実施。

◇金沢方面 時系列

日付	時間	内容	日付	時間	内容	日付	時間	内容
1月9日	12:15	丸岡IC一般道取付部で大型車スタック発生【(b)滞留②③の要因】	1月10日	1:05	武生IC～福井IC（金沢方面）雪により通行止め延伸	1月11日	7:00	滞留④区間 車両排出完了
	13:55	福井北IC 大型車の故障によるランプ閉鎖【(c) 滞留④の要因】		1:30	中日本高速が福井県へ自衛隊の派遣要請を依頼			
	22:20	金津IC～福井IC【災対法適用開始】		4:00	福井県が陸上自衛隊に派遣要請			
	23:25	渋滞延伸により福井IC～福井北IC（金沢方面） 通行止め開始		6:30	第1回災害対策会議（会社、県、自衛隊、国交省）			
				10:10	福井北IC～加賀IC（金沢方面） 雪通行止め開始	1月12日	6:00	通行止め解除
				20:00	滞留③区間 車両排出完了			



◇米原方面 時系列

日付	時間	内容	日付	時間	内容	日付	時間	内容
1月9日	11:30	大型貨物の事故により車線閉塞【(a)滞留①の要因】	1月10日	1:30	中日本高速が福井県へ自衛隊の派遣要請を依頼	1月11日	22:57	滞留②区間 車両排出完了
	11:40	福井IC～丸岡IC（米原方面） 事故通行止め開始		4:00	福井県が陸上自衛隊に派遣要請			
	12:12	丸岡IC部の本線物理的閉鎖		6:30	第1回災害対策会議（会社、県、自衛隊、国交省）			
	12:15	丸岡IC一般道取付部で大型車スタック発生【(b)滞留②③の要因】		10:00	丸岡IC～加賀IC（米原方面） 雪通行止め開始	1月12日	6:00	通行止め解除
	14:30	丸岡IC出口を起点とした本線渋滞発生【滞留②③】		20:00	滞留①区間 車両排出完了			
	22:20	金津IC～福井IC【災対法適用開始】						

≪車両滞留の状況≫

≪車両救出の状況≫

≪物資配布・意向確認の状況≫



車列の状況



スタックした大型車



直轄応援による車両救出



自衛隊による燃料補給



自衛隊による物資配布



一時避難の意向確認

国道8号（福井県）における大雪に伴う渋滞

- 北陸自動車道（武生IC～加賀IC）の通行止めにより、並行する国道8号に交通が集中し、渋滞やスタック車両を起因とする滞留車両が発生。
- 緊急車両等の通行に支障をきたす恐れが高まったことから、災対法に基づく区間指定（延長39km）を行い、警察と連携した通行規制や自衛隊と連携した集中除雪や滞留車両の排出作業を実施。
- また、滞留車両乗員への支援として、自衛隊、福井県、坂井市及びあわら市と連携し食料、水、簡易トイレ等を配布。

◇金沢方面 時系列

◇米原方面 時系列

日付	時間	内容
1月7日		断続的な渋滞発生
1月9日	23:25	福井IC～福井北IC通行止め開始
1月10日	05:00	北野交差点付近にてスタック車両発生 渋滞が徐々に悪化
	10:10	福井北IC～加賀IC通行止め開始
	14:00	自衛隊、福井県、坂井市及びあわら市 による支援物資配布開始
	19:00	災対法指定（あわら市牛ノ谷～鯖江市 宮前 L=39km）
20:00	石川県境～玄女南交差点間通行止め・ 集中除雪開始 玄女南交差点付近で約12km渋滞	
1月11日	15:00	玄女南交差点から約15.5km渋滞 （今回最大）
	16:30	玄女南交差点～高柳交差点集中除雪 へりによる渋滞状況確認
	20:50	通行止め解除

日付	時間	内容
1月7日		断続的な渋滞発生
1月9日	11:40	福井IC～丸岡IC通行止め開始
	19:32	新保交差点にてスタック車両発生 21:50 上安田交差点にてスタック車両発生 渋滞が徐々に悪化
1月10日	10:00	丸岡IC～加賀IC通行止め開始
	10:00～	石川県加賀市熊坂交差点～福井県境 通行止め開始
19:00	災対法指定（あわら市牛ノ谷～鯖江 市宮前 L=39km）	
20:00	石川県境～玄女南交差点間通行止 め・集中除雪開始	
1月11日	16:20	石川県加賀市熊坂交差点～福井県境 通行止め解除 玄女南交差点から約4km渋滞 （今回最大）
	20:50	石川県境～玄女南交差点間通行止 め解除



災害対策法指定に基づく道路の指定区間
牛ノ谷交差点から鯖江市宮前まで

<凡例>

国道8号 ▬ 2車線 ▬▬ 4車線

北陸自動車道 ▬▬▬ 4車線 5

E67中部縦貫道における滞留車両について

- トレーラー等、複数のスタック発生で通行止めを判断。
- 中部縦貫道（福井JCT・IC～大野IC間）の集中除雪のため、1月9日13時から通行止めを実施。
- 通行止め区間に滞留車両（41台）が点在していたため、除雪を行ったうえでの自走による車両退出を急ぐとともに、乗員の長時間車中滞留を回避するため、同意の得られた乗員を除雪基地や永平寺町支所へ救出（15人）。また、車中待機を希望する乗員へ食料配布等を実施。
- 宿泊を希望される乗員については、ホテルを提供（5名利用）
- 1月11日13時20分にすべての車両を退出。



E41東海北陸自動車道（富山県）における大雪に伴う車両滞留

○E41東海北陸道において、大型車のスタック等を契機に、約200台の滞留が発生。

○災害対策基本法に基づく区間指定を行い、警察、自衛隊、富山県の協力による物資配布、渋滞後尾からのUターン等による車両救出及び除雪作業を実施

出典: 国土地理院発行地図



◇岐阜方面 時系列

日付	時間	内容
1月9日	15:15 19:00	182.4KP 大型車スタック発生 上下線 通行止め開始

日付	時間	内容
1月10日	0:30 2:00 22:00	中日本高速が富山県へ自衛隊の派遣要請を依頼 福光IC～小矢部砺波JCT【災対法適用開始】 福光IC～小矢部砺波JCT 車両排出完了

日付	時間	内容
1月11日	21:00	通行止め解除



スタックした大型車



車列の状況



燃料補給



自衛隊による人力除雪

国道8号（上越市）における大雪に伴う車両滞留

- 1月7日からの降雪において、北陸自動車道（柏崎IC～滑川IC）の通行止めにより、並行する国道8号に交通が集中し、上越市内で最大約2kmの渋滞が発生。
- 立ち往生車両を起因とする滞留車両も発生し、緊急車両等の通行に支障をきたす恐れが高まったことから、災対法に基づく区間指定（延長15.6km）及び警察と連携し交通規制を行い、集中除雪及びスタック車両の排出作業を実施。
- また、NEXCO東日本と連携し滞留車両乗員へ、食料、水、簡易トイレを配布。



今冬の降雪における当面の対応について

○1月7日からの大雪を踏まえ、新たに当面对応すべき以下の事項について、各地方整備局等、高速道路会社に対して1月15日に周知

1. 幅広い事前の外出自粛・広域迂回等の呼びかけ

○降雪の状況により通行止めの可能性が高まった場合には、規制予定日時や区間など周知内容を具体化し、物流事業者や荷主も含めるなど対象範囲を広げ、隣接ブロックも含めて広域移動の自粛や広域迂回の呼びかけを繰り返し実施。

2. 躊躇のない広範囲での予防的・計画的な通行規制・集中除雪の実施

- ①「大型車等の立ち往生が発生」又は「大規模な立ち往生の発生のおそれがある場合」には、関係機関と調整の上、都道府県単位や地方ブロック単位にこだわらず広範囲に躊躇なく予防的・計画的な通行規制を行い、集中的な除雪作業を実施。
- ②計画的な通行規制を実施する場合には、予め規制予定日時、区間を指定して、周知。
- ③通行規制箇所については、Uターン場所や広域迂回地点も踏まえ、予め選定、高速道路と並行する国道を同時通行止めすることも含め、運用にあたっては情報連絡本部を開催して判断。

3. 正確な情報の把握

- ①立ち往生車両や放置車両が発生した場合には、正確に滞留状況を把握できるよう、そのための人員体制を確保するとともに、ドローンや衛星通信車なども活用した把握方法を再確認。
- ②道路緊急ダイヤルにより立ち往生車両や放置車両情報を収集する仕組みを構築。

4. 関係機関等との連携体制の確保

○大雪が予想される段階から、地方整備局等、高速道路会社及び地方公共団体等の関係機関と連絡体制を構築するとともに、立ち往生車両が発生した場合には、速やかに滞留状況を把握するとともに、関係機関と連携体制を構築し、滞留者の安否確認、滞留者の救出や救援物資の配布等を行うために必要な除雪状況、滞留状況、車両排出の見通し等の情報を正確に共有。

5. 道路利用者への情報提供

○道路利用者に対し、通行止め、立ち往生車両や渋滞の有無、除雪の作業状況、広域迂回や出控え（出勤、帰宅回避）の呼びかけなど、道路情報板への表示やSNS、ハイウェイラジオ、拡声器等の様々な手段を活用して、幅広く情報提供するとともに、滞留が発生した場合には、様々な手段を活用し、滞留者に対して、直接、定期的に、除雪作業や滞留排出の進捗、通行止めの解除見通し等を情報提供。

令和3年1月 北陸道・国道8号・中部縦貫道 集中降雪を踏まえた課題・今後早急に行う対応（令和3年1月25日公表）

事実関係	原因	今後早急に行う対応
(1) 渋滞・滞留の発生・長期化		
<p>・北陸自動車道、国道8号及び中部縦貫自動車道において渋滞が発生し長期化した。</p> <p>【北陸道】 (金沢方面)</p> <p>9日 12:15 丸岡IC取付部スタック発生 その後断続的にスタック発生</p> <p>13:55 福井北IC 大型車の故障によるランプ閉鎖</p> <p>23:25 福井IC～福井北IC通行止め</p> <p>10日 1:05 武生IC～福井IC通行止め延伸</p> <p>1:30 NEXCO中日本が福井県へ自衛隊派遣要請を依頼</p> <p>4:00 福井県から自衛隊に派遣要請</p> <p>10:10 福井北IC～加賀IC通行止め</p> <p>11日 7:00 滞留車両排出完了</p> <p>12日 6:00 通行止め解除</p> <p>(米原方面)</p> <p>9日 ※11:30 大型貨物スリップによる車線閉塞</p> <p>11:40 福井IC～丸岡IC通行止め</p> <p>12:12 丸岡IC部の本線物理的閉鎖</p> <p>12:15 丸岡IC取付部スタック発生 その後断続的にスタック発生</p> <p>10日 10:00 丸岡IC～加賀IC通行止め</p> <p>11日 22:57 滞留車両排出完了</p> <p>12日 6:00 通行止め解除</p> <p>滞留車両約1,600台、最大37時間の車両滞留発生 ※ NEXCO中日本が把握した時刻</p> <p>【国道8号】 (金沢方面)</p> <p>7日から断続的な渋滞発生</p> <p>10日 5:00 北野交差点付近スタック発生 渋滞が徐々に悪化</p> <p>20:00 県境～玄女南通行止め・集中除雪 玄女南交差点付近で約12km渋滞</p> <p>11日 15:00 玄女南交差点から約15.5km渋滞(今回最大)</p> <p>16:30 玄女南～高柳集中除雪</p> <p>20:50 通行止め解除</p>	<p>○発生原因</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に国道と高速道路を同時に通行止めをすることもあり得ることを合意していたが、具体的な運用方法（事前広報、通行止め実施箇所、車両誘導方法等）についての検討が不十分であった。 <p>【北陸道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7日以降断続的に国道8号の渋滞等があったため、北陸道の予防的通行止めの実施を躊躇した。 ・丸岡 IC の接続部で大型車のスタックが発生（9日 12:15）したが、車両の移動が確認できたため、後続の車両が走行できると考え通行止めの判断を行わず、渋滞の一因となった。 ・福井北IC出口ランプ部において故障車に起因する渋滞の把握が不十分であったことから、北陸道（金沢方面）について通行止めのタイミングが遅れた。 <p>【国道8号】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井IC～丸岡ICが通行止めされ、国道8号に交通が集中することが見込まれるにもかかわらず、北陸道と国道8号を同時に通行止めを実施せず、スタックが頻発した。 <p>【中部縦貫道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前日から通行止めを行い集中除雪を実施した際、引き続き降雪が続く予測であったにもかかわらず交通開放した。 <p>○長期化の原因</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多数の滞留車両に対し車両を救助する除雪機械等が不足していた。 <p>【北陸道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞留状況が正確に把握できず、県、自衛隊等関係機関に対する応援要請が遅れた。 ・自衛隊との連絡が不十分であり、自衛隊が現地に到着した際に、円滑に活動できなかった。 <p>【国道8号】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初の予防的通行規制区間より集中除雪を行った区間が短かつたため、それ以外の区間で渋滞や新たなスタックが発生した。 ・除雪車が渋滞に巻き込まれ、能力を十分に発揮できなかった。 	<p>○広範囲での予防的・計画的通行止めの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大雪に関する緊急発表」が発表された場合、事故、スタック等が生じていなくても、路面状況、積雪、降雪予測、周辺道路を含む交通状況等を踏まえ、短期集中的な降雪により安全な交通確保が困難になると認められる場合は、速やかに予防的通行止めを行う。これらについてタイムラインに反映する。 ・予防的通行止めの実施前に、事故、スタック等が度々発生した場合や、車線が確保されていても渋滞長が伸びると予想される場合は、躊躇無く通行止めを実施する。 ・複数の道路管理者による調整・判断が必要となる場合など、高度な意思決定を伴う場合には、福井県冬期道路情報連絡室（以下、「連絡室」）による情報共有に加え、協議をする仕組み（WEB会議等）を構築し、速やかに意思決定を行う。 ・通過交通を抑制するため、全国的な大雪に関する緊急発表などに加え、個別の予防的・計画的な通行規制に関しても事前に繰り返し広報することにより外出自粛や広域迂回を繰り返し呼びかけた上で、福井県内への交通流入を抑制するよう都道府県単位や地方ブロック単位にこだわらず広範囲に、躊躇なく予防的・計画的な通行止めを行い、集中的な除雪作業を実施する。 ・通行止め実施箇所について、予め、Uターン場所や広域迂回が可能な地点を抽出し、選定しておく。 ・通行止め人員について、予め近隣事務所、支社・整備局の応援を含む人員配置計画を作成し、タイムラインに記載するとともに、その計画に基づき早期に人員を配置し、遅滞なく通行止め措置を講じる体制を整える。 <p>○北陸道と国道8号の同時通行止めの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動の自粛や広域迂回を呼びかけた上で、交通状況、降雪状況に応じて、躊躇無く北陸道と国道8号を同時に通行止めする。 ・北陸道と国道8号を同時に通行止めすることを想定したタイムラインを、連絡室で作成する。 ・北陸道と国道8号を同時に通行止めした際には、各道路の開放の優先順位等を連絡室で調整し、関係機関における除雪機械等を融通して渋滞・滞留の早期解消に努める。 <p>○スタックの未然防止及びスタック発生後の措置の迅速化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各道路管理者は、ITVカメラ、関係機関との情報交換、現地除雪スタッフからの聞き取りなどにより、事故、スタック等の発生する可能性に関する情報の収集に努める。 ・北陸道と国道8号を連絡・接続する道路（ICアクセス道路等）については、国道8号と同レベルの除雪をするため、必要に応じ関係機関で連携して除雪する。 ・地方ブロック単位を超えた除雪機械、オペレータ等の広域応援を積極的に行う。

【N】：NEXCO中日本において実施するもの 無印：主に国、NEXCO中日本で実施するもの

令和3年1月 北陸道・国道8号・中部縦貫道 集中降雪を踏まえた課題・今後早急に行う対応（令和3年1月25日公表）

事実関係	原因	今後早急に行う対応
<p>(米原方面)</p> <p>7日から断続的な渋滞発生</p> <p>9日 19:32 新保交差点スタック発生 21:50 上安田交差点スタック発生 渋滞が徐々に悪化</p> <p>10日 10:00 加賀市熊坂～県境通行止め 20:00 県境～玄女南通行止め・集中除雪</p> <p>11日 16:20 加賀市熊坂～県境通行止め解除 玄女南交差点から約4km渋滞(今回最大) 20:50 通行止め解除</p> <p>【中部縦貫道】</p> <p>8日 13:00 上志比IC～大野ICトラック横向き停止 14:00 上志比IC～大野IC通行止め・集中除雪</p> <p>9日 8:00 上志比IC～大野IC通行止め解除 10:00 大野IC～勝山IC間スタック、事故発生 13:00 福井北JCT・IC～大野IC通行止め・集中除雪</p> <p>11日 13:20 滞留車両排出完了</p> <p>12日 6:00 松岡IC～永平寺参道IC通行止め解除 17:00 永平寺参道IC～上志比IC通行止め解除</p> <p>13日 12:00 全線通行止め解除 車両滞留41台</p>		<ul style="list-style-type: none"> 除雪の効率化及びスタック車両の救出に備えるため、トラクターショベルの事前配置に加え、大型車両も牽引可能な大型レッカー（20t 級）、人力による除雪を行う要員、小型除雪機械の追加配備を行う。【N】 除雪車両が渋滞に巻き込まれた場合は、緊急車両の誘導により反対車線を逆走するなど、迅速に移動させる。 除雪完了後の交通開放は、その時点の天候やその後の回復の見込み等を踏まえ慎重に判断する。 <p>○関係機関への速やかな応援要請</p> <ul style="list-style-type: none"> 通行止めから1時間を経過した時点で自力走行不能車両を動かさない場合は、総力を結集し、本社主導によりプッシュ型で迅速に事務所、支社へ補強人員を応援派遣する。【N】 通行止めから3時間を経過した時点で自力走行不能車両を動かさない場合は、迅速に、県、自衛隊等関係機関に支援要請を行う。【N】 自衛隊等に除雪の支援を要請する場合は、要請する道路管理者は現地に連絡調整責任者を配置する。

(2) 正確な情報の把握

<ul style="list-style-type: none"> 滞留状況（滞留台数、位置）を正確に把握し共有できなかった。 <p><滞留車両数の変更経緯></p> <p>北陸道(丸岡IC～金津IC・米原方面)</p> <p>10日 10:00 滞留開始 18:00 滞留台数12台 19:00 滞留台数100台以上に訂正 11日 2:00 滞留台数180台に訂正</p>	<p>○情報収集要員の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場に滞留状況の確認する人員が十分でなく、かつ除雪や交通誘導など他の業務と兼務で行っていた。途中から現場状況把握のための専任の確認班を配置したが、その規模も十分でなかった。 IC と一般道の接続部の状況把握を行う要員を配置しておらず、出口渋滞の状況確認が不十分であった。 <p>○機器等の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 悪天候によりヘリやドローンの飛行を断念した。その後、天候が回復したが、既に地上からの確認作業を進めていたため、飛行させなかった。 	<p>○情報収集要員の専任配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 大雪に関する緊急発表を行うような降雪が予測される場合は、複数箇所での同時滞留発生も想定し、滞留車両の確認を専任で行うために十分な要員を降雪が強まる前に確保し巡回体制を強化する。 連絡室を通して、IC の接続道路の状況を当該道路管理者から積極的に情報収集する。【N】 <p>○情報収集に必要な機器等の増強、活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 車線上の必要な箇所、料金所一般道側の交通状況が把握可能な箇所に WEB カメラを増設する。【N】 スノーモービルを活用し滞留状況の確認や滞留者への支援物資提供を行う体制を構築する。【N】 道路緊急ダイヤルにより滞留車両の情報を収集する仕組みを構築する。 特に広範囲での大雪が予測される場合は、事前に防災ヘリの要請を行い滞留状況を確認すると共に、衛星通信車を活用し滞留状況や作業状況の共有を図る。また、ドローンについても、降雪が弱まり飛行が可能になった際に活用し、滞留状況のみならず除雪作業の状況など現地の状況を把握するため飛行させる。
---	--	--

【N】：NEXCO中日本において実施するもの 無印：主に国、NEXCO中日本で実施するもの

令和3年1月 北陸道・国道8号・中部縦貫道 集中降雪を踏まえた課題・今後早急に行う対応（令和3年1月25日公表）

事実関係	原因	今後早急に行う対応
(3) 現地機関の体制確保と関係機関間の連絡体制の構築		
<ul style="list-style-type: none"> 連絡室内の情報共有が十分でなかった。 連絡室内で共有した情報が、関係機関において適切に活用されなかった。 通行止めの情報について、市町との共有が図れていなかった。 <p>■連絡室(福井河川国道に設置) 7日11:00開設 12日18:00解散 解散まで各機関は連絡室に常駐 定例会議 12日までに計6回開催 常駐: NEXCO中日本、福井河川国道事務所、福井県(土木部・安全環境部)、福井県警察本部 WEB参加: 自衛隊、福井地方気象台他</p> <p>■福井県災害対策連絡室(福井県が開催) 8日6:53設置 9日までに計2回会議開催 ■福井県災害対策本部(福井県が開催) 10日4:00設置 18日までに計11回会議開催 ■整備局・NEXCO中日本相互リエゾン 整備局⇄NEXCO中日本 7日12:00～12日12:00 ■県庁リエゾン 整備局⇒福井県 8日15:00～18日17:00</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○情報共有の漏れ ・連絡室に関係機関の職員が常駐し、時々刻々の情報を共有していたが、朝夕の定例会議以外の情報共有は口頭で共有することが多く、必ずしも十分な共有が図られていなかった。 ○重要情報の共有の欠如 ・通行止め、渋滞長等の情報は共有されていたものの、滞留台数やスタック車両の撤去見込み等の今後救出に必要な重要な情報や現地の危機感の共有が十分ではなかった。 ○沿線自治体首長への連絡の遅れ ・重要情報であるとの危機感の共有が不足したことにより、道路管理者及び県から市町への情報共有が遅れた。 ○リエゾンの役割の不徹底 ・福井河川国道事務所の雪害対応業務の人員が不足していたため、近畿地方整備局本局が派遣したリエゾンが雪害対応業務に巻き込まれ、本来の情報伝達業務が十分行えなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○連絡室の情報共有の強化 ・連絡室は収集した情報を文字化して参集者に共有するなど、関係機関が確実に確認できる仕組みを構築する。 ・情報を適切に所属機関等へ伝達するよう連絡室参集者の役割を再徹底する。 ・連絡室での情報共有に加え、関係機関が同じ情報を共有する仕組み(WEB会議等)を構築する。 ・滞留、渋滞等の情報だけではなく、滞留車両の発生、それらの数、滞留時間・状況、解消までに長時間を要する可能性等の救出行動に必要な情報を共有する。 ・滞留者の有無等の重要情報については、道路管理者から関係機関の幹部に直接連絡するなどにより危機感が共有されるよう努める。 ○沿線自治体首長とのホットラインの構築 ・県から市町への通常ルートによる連絡に加え、重要情報については、道路管理者から首長に直接連絡するなどにより早期に共有する。 ○リエゾンの役割の徹底 ・リエゾンが災害対策本部の業務に巻き込まれることなく、本来の業務に専念できるよう、雪害対応業務の応援要員を派遣する。 ・リエゾンの役割を再徹底し、積極的に情報収集し伝達する。
(4) 滞留者の救助・支援		
<ul style="list-style-type: none"> 支援物資が行き渡らなかった 物資配布等の準備に混乱が生じ、対応に時間を要した。 滞留者の輸送手段や宿泊施設の手配が遅れた。 滞留者への情報提供が十分でなかった。 <p>【北陸道】 9日 12:15滞留車発生 22:05滞留車両乗員へ安否確認および食料等配布開始 10日 1:30NEXCO中日本が福井県に自衛隊派遣要請を依頼 4:00福井県から自衛隊に派遣要請 12:56観光庁に宿泊施設確保を要請</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○滞留者の状況確認の遅れ ・滞留者の安否確認、一時避難等の意向把握について、複数箇所での滞留車が発生したため、人員不足となり体制確保に時間を要した。 ○救助・支援の遅れ ・関係機関で備蓄物資の内容・備蓄場所の情報が共有されていなかったため、救援物資の配布が遅れた。 ・物資配布や宿泊所手配に対して事前の準備ができていなかった。 ○応援要請の遅れ ・支援物資の配給、一時避難場所・宿泊施設・輸送手段の手配を大規模に行う初めてのオペレーションであったため、運輸局、県、自衛隊への支援要請も遅れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○滞留者の把握の迅速化 ・大雪に関する緊急発表を行うような降雪が予測される場合は、複数箇所での同時滞留発生も想定し、滞留車両の確認を専任で行うために十分な要員を降雪が強まる前に確保し巡回体制を強化する。(再掲) ・スノーモービルを活用し滞留状況の確認や滞留者への支援物資提供を行う体制を構築する。(再掲)【N】 ○備蓄の確保、備蓄情報の共有 ・関係機関が連携して、予め、道路毎に備蓄拠点を分散して設けて資機材や支援物資を配備し、その情報を連絡室で共有する。 ○支援体制の強化(地方整備局現地対策本部の設置) ・整備局が主体となって運輸局を含む関係機関と連携のうえ滞留者支援のための現地対策本部を設置し、道路管理者からの滞留状況等の情報を踏まえ、支援物資の配給、一時避難場所・宿泊施設・輸送手段の早期確保を行う。

【N】: NEXCO中日本において実施するもの 無印: 主に国、NEXCO中日本で実施するもの

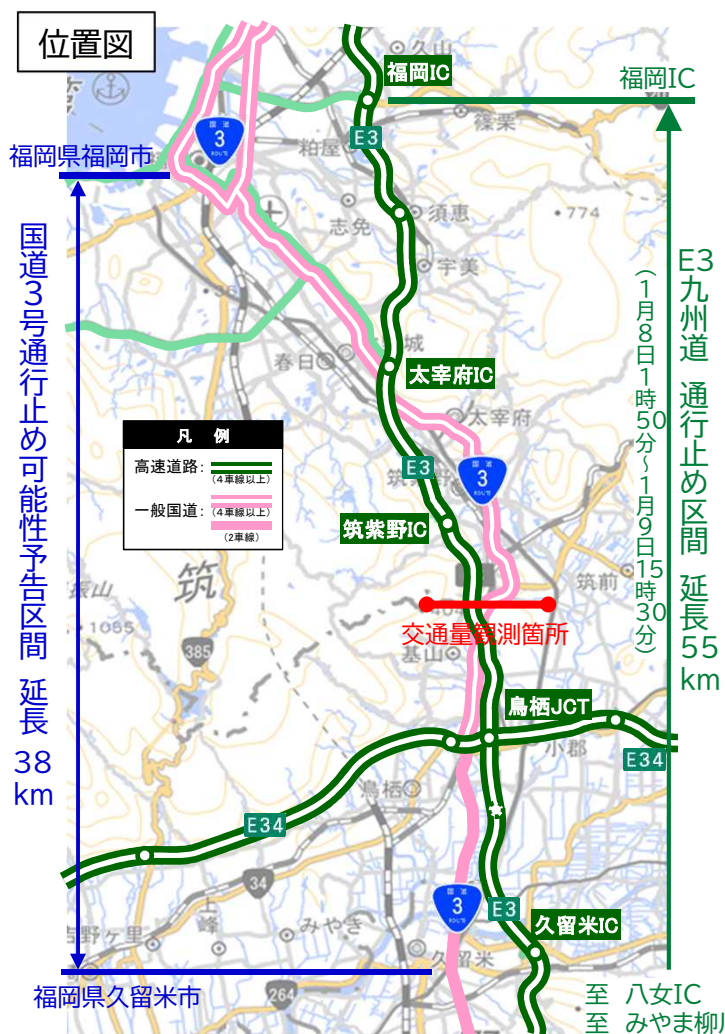
令和3年1月 北陸道・国道8号・中部縦貫道 集中降雪を踏まえた課題・今後早急に行う対応（令和3年1月25日公表）

事実関係	原因	今後早急に行う対応
<p>11日 1:15ホテルへの搬送開始 11日 8:00ホテルへの搬送完了 計23名</p> <p>【国道8号】 9日 21:50上安田交差点スタック発生 渋滞が徐々に悪化 10日 6:30滞留車両乗員へ食料等配布開始</p> <p>【中部縦貫道】 9日 13:05滞留車発生 15:15滞留車両乗員への安否確認・意向把握開始 10日 1:55近畿地整が宿泊施設確保 9:30滞留車両乗員へ食料等配布開始 13:00ホテルへの搬送開始 20:00ホテルへの搬送完了 計5名</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県、自衛隊が現地に到着したものの、現地に道路管理者側の連絡調整責任者が不在で的確な作業要請ができなかった。 滞留者の路外避難について、路面状態が悪く、高速道路上へのバスの乗り入れができず、乗用車でのピストン輸送となり、時間を要した。 関係機関の配布実績や滞留情報等を考慮せずに配布したため、必要数を把握できなかった。 <p>○滞留者への情報提供不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 滞留者への情報提供について内容・頻度が不十分であった。 SNS による情報提供も行ったが、専任ではなく兼務の要員で行ったため、情報提供が不十分であった。また、SNS による情報提供は文字情報にとどまり、路面状況や作業状況を写した写真などより詳しい情報が不足していたため現地状況がわかりづらかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 道路管理者においては、道路除雪・開放に必要な要員の確保を優先したうえで、必要な現地要員を確保する。 高速道路においては、滞留車の救助・支援に必要な要員確保を支社間等の広域応援を含めて、最大限努力する。しかしながら、通行止めから3時間を経過した時点で自力走行不能車両を動かせない場合は、数百台規模の立ち往生となり滞留車救助に24時間以上を要すると見込まれることから、迅速に、国、県、自衛隊等関係機関に支援要請を行う。【N】 現地での支援要請をする場合には、自らも要員確保を最大限努力するとともに、現場で効率的に支援活動ができるように活動単位毎に連絡調整責任者を配置する。【N】 <p>○滞留者への情報提供の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 滞留が発生した場合には、SNS、ハイウェイラジオ、拡声器等の様々な手段を活用し、滞留者に対して直接、定期的に、除雪作業や滞留者救出の進捗、通行止めの解除の見通し等を繰り返し情報提供する。 SNS による情報提供の担当者を配置し、滞留時の道路情報を SNS で知らせるとともに、支援物資に SNS のアクセス用の QR コードを付したり、チラシを配布するなどにより、滞留者に SNS を周知する。また、写真や図を掲載した情報提供を行う。 モバイル端末を所有していない滞留者を想定し、車両や徒歩の可能な手段で接近し拡声器等で案内する。
<p>(5) 広報、情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 外出自粛や予防的事前通行規制の可能性について、マスコミ及びトラック協会などへ広報を行ったが、大型車の流入が止まらなかった。 マスコミ等外部からの問い合わせに対して十分な対応ができなかった。 滞留者も含め道路利用者への情報提供が質・量・頻度ともに不足していた。 <p>【整備局・福井河川国道】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前広報(6日以前) 記者発表2回、記者会見1回、SNS 1回 発災後広報(7日～12日) 記者発表18回、HP広報 32回、SNS 84回 <p>【NEXCO中日本】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前広報(6日以前) 記者発表 3回、SNS3回 発災後広報(7日～12日) 記者発表48回、SNS48回 	<p>○広報の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報の対象、内容、頻度が不十分であった。 <p>○荷主への広報の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 荷主に対して十分な広報が行えていなかった。 <p>○マスコミへの情報提供の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> マスコミへタイムリーに正確な情報を提供できなかった。 	<p>○広報手段の多様化、具体化、多頻度化</p> <ul style="list-style-type: none"> 大雪に関する緊急発表を行うような降雪が予測される場合は、これまでの記者発表や HP、道路情報板等の提供手段に加え、SNS、TVCM、ラジオや休憩施設に設置したデジタルサイネージの活用や市町と調整した地域一斉メールの発出など多様な手段を活用し、特に北陸道と国道8号の同時通行止めを行う場合等は、繰り返し、幅広く、外出自粛や広域迂回の呼びかけ、除雪作業や滞留排出の進捗、通行止めの解除の見通し等の情報提供を実施する。 <p>○荷主への広報の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ラジオの緊急放送枠など様々な手段を活用し、荷主側に対する協力をお願いを繰り返し行う。 経済団体等の関係団体に対し、直接的に広報を行う。 <p>○広報体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報体制を強化し、マスコミ報道を通じた正確な情報提供を行う。

【N】：NEXCO中日本において実施するもの 無印：主に国、NEXCO中日本で実施するもの

雪寒時の出控え広報により、国道3号、E3九州道の断面交通量が大幅減少

- 福岡県南北軸の基幹交通を担う、E3九州道と国道3号が同時通行止めとなる可能性の事前広報を実施。
- 地域特性として冬用タイヤの装着率が低いことから、「出控え」に力点を置き広報。
- E3九州道は通行止めとなったものの、国道3号の通行止めは回避。
- 事前広報の効果もあり、断面交通量は大きく減少。国道3号においても目立った渋滞は発生しなかった。
- 「九州道と国道3号が同時通行止めになった場合、特に生鮮食品の流通に多大な影響があり困る」といったご意見が整備局に約20件程度あり。



時系列

日付	時間	内容
1月6日	18:00	高速道路の通行止め予測発表(福岡～久留米IC)
		以後6時間毎に発表
1月7日	15:00	大雪に関する緊急発表(気象情報・出控え)
1月8日	1:50	E3福岡IC～八女IC通行止め開始
	3:00	並行する国道3号の通行止めの可能性を発表
	8:00	国道3号の通行止めの可能性についてTV放映(KBC)
		渋滞は発生したものの、滞留はなし
1月9日	14:53	E3久留米IC～八女IC通行止め解除
	0:40	E3久留米IC～みやま柳川IC通行止め開始
	15:30	E3福岡IC～みやま柳川IC通行止め解除

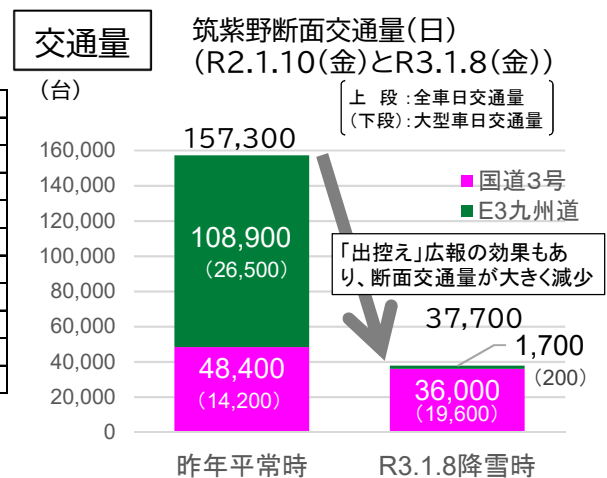
広報関係

<記者発表>

令和3年1月8日
九州地方整備局

一般国道3号の通行止めについて
～不要不急の外出はお控えください～

- 一般国道3号(福岡県福岡市～久留米市)までの約38kmについて、昨夜からの大雪により、全面通行止めを行う可能性があります。【別紙-1参照】
- 接続する福岡都市高速道路や県道等においても通行止めが発生しています。
- ドライバーの方々には、**不要不急の外出はできるだけ控えて**頂くをお願いします。



<報道状況>

<1月8日(金)KBCニュース>

08. Kbcnews

さらに強い寒気流入が
今後“警報級”大雪恐れ

佐賀・鳥栖市
午前7時すぎ

九州地方整備局
今後の積雪次第で
国道3号(福岡市～久留米市)通行止め検討

1件の記者発表で報道機関より15回の問い合わせあり!

E68東富士五湖道路と国道138号の同時通行止め

- 1月23日から1月24日にかけての関東甲信地方での大雪において、山梨県と静岡県を結ぶ東富士五湖道路と、並行する国道138号では、予防的通行止めを同時実施。
- ホームページによる迂回の呼びかけ、道路情報板による通行止め情報を案内。
- 大雪による滞留をさせないため、通行止め措置により車両進入を防止。
- 除雪後も今後の降雪に備え通行止めを継続したことについて「路面に雪がなくなったのなら早く開放して欲しい」などの意見が整備局に約40件程度寄せられた。



通行止め時系列

		1月23日			1月24日							
		18時	21時	24時	3時	6時	9時	12時	15時	18時	21時	24時
E20中央道(八王子JCT～一宮御坂) E68中央道(大月JCT～都留IC)	通行止め				2時00分 通行止め				15時00分 通行止め解除			
E68中央道(都留IC～河口湖IC)	通行止め				0時00分 通行止め							
E68東富士五湖道路(河口湖IC～須走IC)	通行止め											
国道138号 12.4kp～20.6kp (山梨県南都留郡山中湖村 ～静岡県駿東郡小山町)	通行止め (集中除雪)											

通行止めの案内



1月23日から24日かけての関東甲信地方での大雪に伴う通行止め予測及び広域迂回の呼びかけ

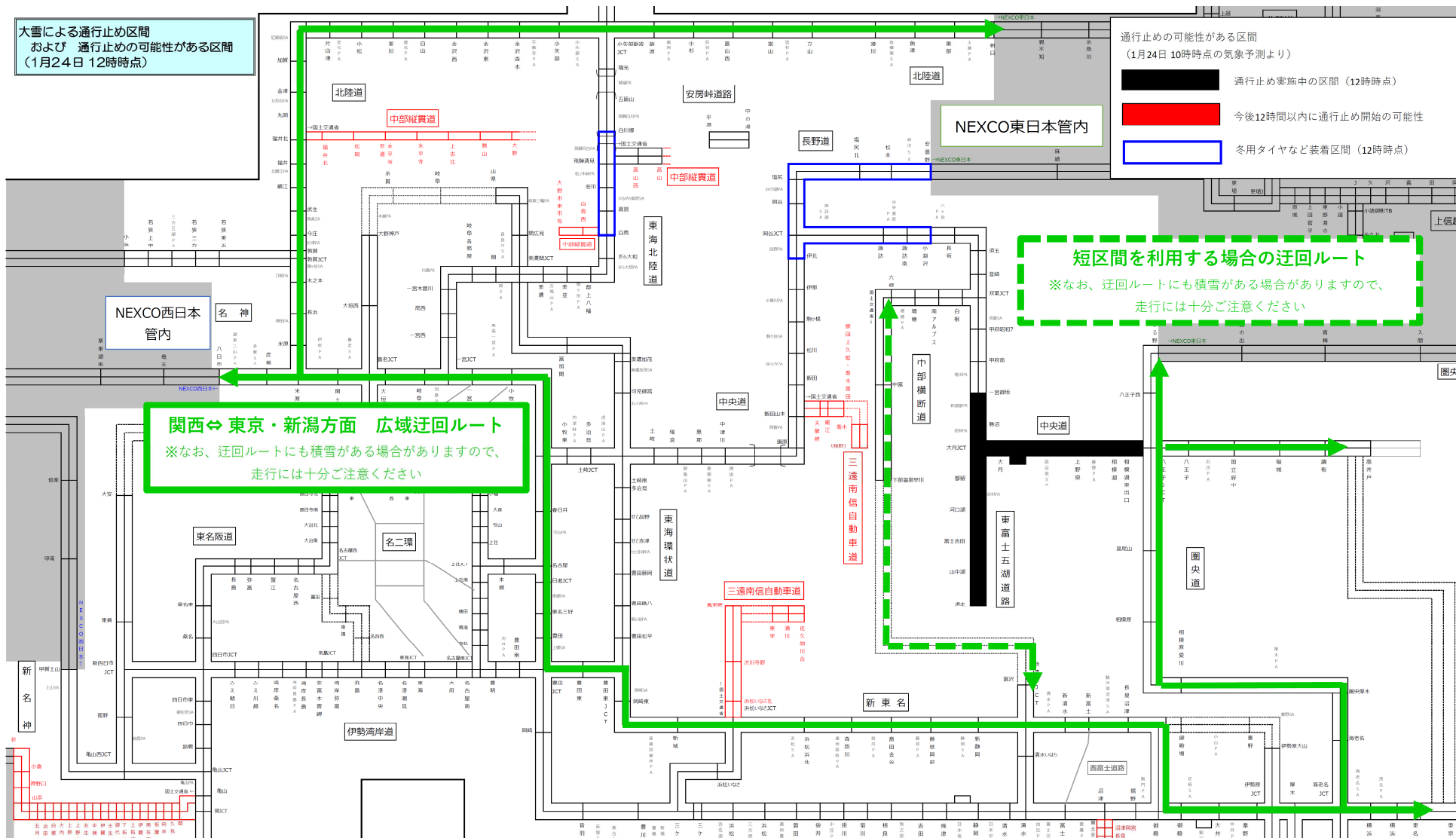
○大雪による高速道路の通行止めの可能性がある場合は、地方整備局と高速道路会社と連携して通行止め予測を公表。

(公表開始：1/22 23:00、通行止め開始：1/24 0:00、通行止め解除：1/24 15:00 延べ5回実施)

○また、公表にあわせて外出自粛や冬タイヤの装着とチェーンの携行、県を跨いだ広域迂回の呼びかけを実施。

(通行止め区間や通行止め開始の可能性区間にあわせて広域迂回ルート等もお知らせ)

○さらに、運送事業者や荷主に対しても広域迂回や運送日の調整等について協力の呼びかけを実施。



▲ 中部地方整備局と中日本高速道路会社による記者発表 (1月24日 12時00分発表)